

服育net研究所



2016年度
報告書

服育 net 研究所について

服育 net 研究所は、服育に関する調査・研究、及び普及・啓発を進めるため設立されました。

誰にとっても身近で毎日必ず着用する衣服は、生活の基本であるだけでなく、世界の様々な事柄とつながる「着る」以上の可能性を含むものです。

私たちはその衣服の力を一人でも多くの方へ伝え、

服育の輪を広げていきたいと考えています。

服育を通して生まれた衣服を大切にできる気持ちや衣服について考える思考は、豊かなこころを育み、「生きる力」の醸成へとつながっていきます。

服育研究所の目的

■服育に関する調査・研究を行い、衣服の持つ力についてより多くの人へ伝えるべく服育の普及・啓発活動に取り組む。

■服育を通して豊かなこころを育み、生きる力の醸成へとつなげていく。



No.1

服育学びツールの取り組み

① 第7回服育標語ポスター

テーマ：スクールユニフォーム
 応募資格：特になし
 応募期間：2016年4月1日～7月15日
 応募総数：2287通（全国の中学生、高校生）



最優秀作品

「フクよ来い 服の着こなし 福を呼ぶ」
 広島県立河内高等学校 1年生
 野田拓人さん

※最優秀作品をポスター化し、
 全国の希望する学校へ配布しました。

② バトンバッグ

目的：バッグを通じて、環境（制服の残反を活用）、
 福祉（福祉施設でバッグに加工）、教育（子供たちの手でバッグをアップサイクル）、
 国際（バッグを海外でエコバッグとして活用）をつなぐ。

応募資格：高等学校、専門学校、大学に在学する学生、生徒
 募集人数：約100名

参加人数：118名がバトンバッグの製作に参加。

2016年度取り組みバッグについては、2017年度以降にソロモンにて活用予定。



■ソロモンでの活用

2015年度製作分のバトンバッグを現地の環境教育のために活用。
 4月に環境ポスターコンクールを企画し、その賞品としてバトンバッグを
 現地の子供たちへ配布。エコバッグとして活用してもらう。
 ※この活動は、NPO法人こども環境活動支援協会が行う、
 JICA 草の根技術協力事業のソロモン事業の中で行われました。



③ 服育着こなしワークシート

教職員向け研修や情報誌の中で積極的に紹介。
 HP等を通じて多くの問い合わせをいただき配布した。



④ 制服の一生すごろく

教職員向け研修や情報誌の中で積極的に紹介。
 HP等を通じて多くの問い合わせをいただき配布した。



No.2

学校での服育セミナー開催

① 着こなしセミナー、授業

依頼をいただいた全国の学校（小学校・中学校・高校・大学）にて開催。

■主なコンテンツ

- ・衣服のTPO、オンとオフの違い
- ・制服の着こなしについて（デザインやカラーについても説明）
- ・ノンバーバルコミュニケーションについて



② その他

新たな取り組みとして、障害者支援施設での着こなしセミナーを開催。
 人と会う時の衣服の選び方についてデザインやカラーなど説明。

<http://www.fukuiku.net/report/student/s-others/3424.html>



No.3 イベント企画

①服育ラボ定期セミナー

日時：8月4日（木） 午前の部／10:30-12:30 午後の部／15:00-17:00

場所：ブリーゼプラザ（大阪市）

テーマ：大人の服育

～「着る」から「装う」へ～

講師：しぎはらひろ子

（服飾専門家、ファッションエデュケーション協会代表理事）



No.4 全国の服育研究会とのコラボレーション

①京都服育研究会

京都版服育標語ポスターを募集、作成。



標語ポスター
（京都）

②愛知服育研究会

■服育発表会を開催

日時：2016年8月5日（金）

場所：東桜会館 1F ギャラリー

テーマ：「被服心理学」で読み解く衣服のメッセージ

～コミュニケーションツールとしての装い～

講師：内藤章江

（お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）



服育発表会
（愛知）

③東京服育研究会

■服育定期セミナーを開催

日時：2016年11月11日（金）16:00-18:00

場所：新宿 NSビル 30F

テーマ：大人の服育

～「着る」から「装う」へ～

講師：しぎはらひろ子

（服飾専門家、ファッションエデュケーション協会代表理事）

たかぎこういち（ブランドプロデューサー）



定期セミナー
（東京）



④三重服育研究会

■服育シンポジウムを開催

日時：2016年8月25日（木）14:00-16:00

場所：四日市市市民文化会館 第4ホール

テーマ：子どもを守り育てる服育とは

講演：「身にまとう」ってどういうこと？

～子どもの成長と生き方から考える～

暁幼稚園 園長 松永高弘

服育調査報告：子どもたちの衣服に関する調査報告

パネルディスカッション：「子どもをまもり育てる服育とは」

- ・暁幼稚園 園長／松永高弘
- ・元県立高等学校校長、元私立中学校高等学校校長／伊藤博和
- ・四日市市立常盤中学校 PTA 会長／市川ゆかり
- ・三重県四日市南警察署生活安全課副参事兼北勢少年サポートセンター長／山路智子



シンポジウム
（三重）



No.5

学会発表

① (一社) 日本家政学会
平成28年度被服学関係部会合同セミナー

日時：2016年8月29日(月)
テーマ：服育がつなぐヒト・コト・ココロ



② (一社) 日本繊維機械学会
繊維リサイクル技術研究会 第123回情報交換会

日時：2017年3月29日
テーマ：繊維リサイクルと服育
～もっと身近に、もっと楽しく～

No.6

外部研修等への講師派遣

① 教員のための消費者教育講座(東京)

日時：立川会場/7月28日(木) 12:30-14:30
飯田橋会場/8月8日(月) 12:30-14:30

主催：東京都消費生活総合センター

後援：東京都教育委員会、東京私立諸島学校協会、(一財)東京私立中学高等学校協会、
(公財)東京都私学財団

参加者：都内の小学校、中学校、高校、特別支援学校の先生、栄養士、部活動の指導にあたる先生など

テーマ：服育で衣服の力を生きる力へ

～環境と着こなしの観点から～



② 繊維リサイクルアイデアコンペティション

主催：(一社)日本繊維機械学会 繊維リサイクル技術研究所

公募内容：1. 学生服を有効利用する仕組みの提案

2. 学生服からできた材料の使い方の提案

「学生服のリサイクル」をテーマにしたリサイクルコンペティションに審査員として参加。



No.7

服育原稿の寄稿

① じっきょう 家庭科資料(通巻71号) / 実教出版株式会社、3月25日発行

「服育により気づきが広げる子どもたちの世界」

② FHJ(Future Homemakers of Japan) vol. 643 / (一財)家庭クラブ、7月1日発行

ゼミナール『服育』で私たちの暮らしをもっと豊かに もっと楽しく」

No.8

その他情報発信

①情報誌「SORA」

隔月発行、主に教育関係者を対象に配布



②情報誌「TAKE」

季刊、主に企業を対象に配布



③メルマガ「fukuiku e-journal」

毎月発行



④服育 HP

<http://www.fukuiku.net/>

⑤服育 facebook

<https://www.facebook.com/fukuikuchikuma/>

服育 net 研究所

株式会社チクマ キャンパス事業部

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-3-10

tel.06-6222-3531 fax.06-6222-3614 e-mail fukuiku@fukuiku.net

服育ホームページ <http://www.fukuiku.net/>